



▲4月25日、武雄河川事務所の協力を得て、地域ごとの防災マップ作りをするみなさん。昨年、避難勧告が発令された東多久町6地区を対象にしたもので、危険箇所等話し合いながら地図に記載後、実際に歩いて確認し、完成させました。

市内で災害発生する恐れのある場合や発生時に市では、災害対策本部(専用回線☎75-26078)を設置します。水害のおそれがある場合も同様で、同本部では、河川の水位判断基準に従い、防災行政無線や広報車などで『避難準備情報(自主的避難)』、『避難勧告』、『避難指示(避難命令)』の呼びかけを行います。避難情報に従い、速やかに避難してください。防災行政無線の放送が聞き取れなかった場合は、電話(☎75-85558または☎75-00550)で確認できます。

### □ 避難情報で速やかに行動

### □ 屋外での危険を避ける

避難勧告が発令されても水深が膝下を越えると安全な避難は困難になります。無理をせずに屋内の高い場所に移動しましょう。また、市が指定した避難所が遠く、避難が危険と判断されるときは、無理に避難所へ避難せず、地区公民館などに一時的に避難しましょう。屋外では、ふたの外れたマンホールや側溝に転落しないよう注意し、単独行動は避け、ロープで互いの体を結んだり、棒で足下を確かめたりしながら歩きましょう。



▲5月10日、国土交通省、佐賀県、小城警察署、多久消防署、多久市の関係者が集まり、防災パトロールを行い、市内の危険箇所を現地を確認。改善が必要な箇所について、対応策を協議しました。

□ **地域で高齢者のサポート**  
自分の家族や住みだけでなく、地域全体に目を向け、避難に手助けが必要なお年寄りの方などには、自主防災組織など地域で気を配り、対策を立てておきましょう。  
市では、一人暮らしの高齢者や障害のある方など自力で避難や情報収集が困難な方を対象に、区長や民生委員などの協力で『災害時要援護者避難支援』体制も整えています。

□ **雨水排水溝などの清掃**  
排水溝や側溝は、ゴミや落ち葉などが詰まると流れを妨げてしまいます。点検・清掃をしておきましょう。  
持病がある方は、常備薬を、乳幼児がいる場合はミルクやオムツの準備も必要です。

### 準備しておきたい非常時持出品

- 懐中電灯、ラジオ(電池は切れていませんか? 予備の電池もお忘れなく)
- ろうそく、ライター(マッチもお忘れなく。着火するか時々試して)
- 非常食(3日分が必要です。賞味期限のチェックはお忘れなく)
- 緊急医療品(病気の方がいる場合は、その薬も。赤ちゃんがいる場合は、ミルクなどもお忘れなく)
- 非常用飲料水(1日1人、約3ℓ、3日分が必要です)
- ビニール大袋(防寒や簡易トイレにも役立ちます)
- ロープ(万が一の緊急脱出、救助、その他いろいろ使えます)
- 現金、貴重品(いざという時、すぐ持ち出せるように保管場所を決めておきましょう)

この他、ティッシュペーパー、ヘルメット、軍手、介護用品など、必要に応じて準備しておきましょう。

### □ 気象情報に注意

テレビやラジオの気象情報をこまめにチェックしましょう。インターネットでは、河川水位や降水量の最新情報が得られます。  
 多久市防災Web [http://www.taku-bousai.jp/p\\_index.asp](http://www.taku-bousai.jp/p_index.asp)  
 佐賀地方気象台 <http://www.jma-net.go.jp/saga/>  
 武雄河川事務所 <http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/bousai/>

### □ 携帯メールの登録を!!

携帯電話への災害情報配信サービスもあります。メール受信にかかる通信料は自己負担となりますが、登録料、情報料は無料ですので、ぜひ活用ください。

[多久市防災メール]  
防災行政無線で緊急一斉放送した内容をメール配信しています。市内から離れた時や放送を聞き逃した時にも便利なサービスです。

<http://www.taku-bousai.jp>

[佐賀県防災ネットあんあん]  
防災・火災・防犯等の情報が配信されています。

<http://esam.jp>



<QRコード>



<QRコード>